



モード間の変換

この章は、次の項で構成されています。

- [Wi-Fi モードの変換 \(1 ページ\)](#)
- [変換を始める前に \(2 ページ\)](#)
- [IOS XE 17.11.1 より前の Wi-Fi モードの変換 \(3 ページ\)](#)
- [IOS XE 17.11.1 以降での Wi-Fi モードの変換 \(6 ページ\)](#)

Wi-Fi モードの変換

シスコに Wi-Fi プラガブルモジュールをご注文いただいた場合、CAPWAP、EWC、および WGB モードを現在 Cisco Commerce Workspace (CCW) で選択できます。希望する展開モードを考慮した上で、それに応じたソフトウェアタイプがインストールされたモジュールをご注文いただくのが一番便利な方法です。

このセクションで説明する手順に従うことで別のモードに変換できますが、一部サポートされないモード変換もありますのでご注意ください。

モジュールのファームウェアのアップグレードと Wi-Fi モードの変換は、IOS XE 17.11.1 以降を実行しているか、17.11.1 より前の IOS XE バージョンを実行しているかによって異なります。ここでは、その両方のシナリオについて説明します。

変換プロセスを開始する前に、実行している WIM イメージのタイプ、バージョン、およびモードを把握しておくことが重要です。次の表を参照してください。

イメージ	サポートされるモード
EWC イメージ (C9800-AP-iosxe-wlc.bin)	EWC モードをサポート
UIW イメージ (ap1g8t-k9c1-tar)	17.11 より WGB モードをサポート
CAPWAP イメージ (ap1g8-k9w8-tar)	17.11 以降の CAPWAP モードのみをサポート
CAPWAP イメージ (ap1g8-k8w8-tar)	CAPWAP をサポート WGB モードをサポート (17.10 まで)

変換を始める前に

変換を適切に実行するには、変換を実行する前に、次の手順に従って現在の WIM イメージのタイプ、バージョン、およびモードを確認します。[Wi-Fi モードの変換 \(1 ページ\)](#) の表を参照してください。

手順

ステップ 1 ルータコンソールを介した WIM との接続、ログインし、**Enable** と入力して、設定されたユーザー名とパスワードまたはデフォルトパスワードを使用して特権 EXEC モードに移行します。

(注)

EWC 内部アクセスポイントの場合、プライマリ AP CLI を使用するには、コントローラのプロンプトで **wireless ewc-ap ap shell username [AP-username]** と入力し、内部アクセスポイントシェルにログインします。

ステップ 2 [WIM イメージタイプの決定](#) で説明されているコマンドを使用して、WIM の現在のイメージタイプを取得します。イメージタイプは、CAPWAP、UIW、および EWC-AP のいずれかである必要があります。

ステップ 3 次のように、イメージタイプに応じた CLI を使用して、WIM の現在のバージョンを確認します。

- a) イメージタイプが CAPWAP および UIW の場合は、WIM で **show version | inc Running** コマンドを使用してバージョンを取得します。

```
AP#show version | inc Running
AP Running Image      : 17.11.0.100    <-version number 17.11
```

- b) イメージタイプが EWC-AP の場合は、WIM で **show version | inc Cisco IOS XE Software** コマンドを使用してバージョンを取得します。

```
AP#show version | inc Cisco IOS XE Software
Cisco IOS XE Software, Version BLD_V179_xxxx. <-version number:17.9
```

ステップ 4 WIM で **show running-config | inc AP** コマンドを使用してモードを確認します。

- a) WGB モードの場合、**AP Mode : WorkGroupBridge** が出力に表示されます。

```
APE8EB.349C.1510#show running config | inc AP
AP Name      : APBCE7.120C.D850
AP Mode      : WorkGroupBridge
```

- b) CAPWAP AP モードの場合、**Local** または **FlexConnect** が出力に表示されます。

```
APBCE7.120C.D658#show running-config | inc AP
AP Name      : APBCE7.120C.D658
AP Mode      : FlexConnect
```



- (注) 上記の手順を使用してソフトウェアのバージョンとモードを確認したら、次の対応する変換の項に進めます。

iOS XE 17.11.1 より前の Wi-Fi モードの変換

この項の内容は、次のとおりです。

- [CAPWAP モードから EWC モードへの変換 \(3 ページ\)](#)
- [CAPWAP モードから WGB モードへの変換 \(4 ページ\)](#)
- [WGB モードから CAPWAP モードへの変換 \(5 ページ\)](#)
- [EWC モードから CAPWAP モードへの変換 \(5 ページ\)](#)

CAPWAP モードから EWC モードへの変換

この変換は、CAPWAP イメージを含む WIM があり、その WIM を Embedded Wireless Controller ベースのネットワークに展開する場合に必要です。これを行うには、CAPWAP AP を Embedded Wireless Controller に変換する必要があります。

CAPWAP イメージを含む WIM を Embedded Wireless Controller 対応イメージに変換するには、次の変換手順に従ってコントローライメージをダウンロードします。詳細については、[EWC ホワイトペーパーの「変換」の項](#)を参照してください。

CAPWAP モードから EWC モードへの変換手順

手順

ステップ 1 ルータコンソールを介した WIM との接続、ログインし、**Enable** と入力して、設定された CAPWAP AP のユーザー名とパスワードを使用して特権 EXEC モードに移行するか、[デフォルト WIM パスワード](#)を使用します。

ステップ 2 `show version | include AP` コマンドを使用して、EWC イメージがすでに WIM にプログラムされているかどうかを確認します。

EWC イメージがプログラムされている場合は、次の出力が表示されます。

```
APE8EB.349C.1510#show version | include AP
Cisco AP Software, (aplg8),
APE8EB.349C.1510 uptime is 1 days, 13 hours, 07 minutes
AP Running Image      : 17.13.0.98
AP Image type        : EWC-AP IMAGE
```

EWC イメージが存在しない場合は、次の出力が表示されます。

```
APBCE7.120C.DAD8# show version | include AP
AP Image type      : EWC-AP IMAGE
AP Configuration  : NOT ME OR EWC-AP CAPABLE
APBCE7.120C.DAD8#
```

(注)

イメージが存在しない場合は、次のサブステップに従って、イメージを IR1800 bootflash: またはリモート TFTP サーバーにコピーします。

- a) EWC イメージファイルをダウンロードして解凍します。
- b) 必要なイメージ (**C9800-AP-iosxe-wlc.bin**) とそれぞれの AP イメージ (**ap1g8**) をリモート TFTP サーバーにコピーします。
- c) または、IR1800 をローカル TFTP サーバーとして使用する場合は、IR1800 で次の追加コマンドを実行します。

次の例を使用して、EWC および AP イメージファイルを IR1800 bootflash: にコピーします。

```
IR1800#copy tftp://<TFTP IP>/C9800-AP-iosxe-wlc.bin flash:
IR1800#copy tftp://<TFTP IP>/ap1g8 flash:
```

IR1800 で TFTP サーバーを設定します。たとえば、VLAN100 インターフェイスに接続されている AP などです。

```
IR1800# config term
ip tftp source-interface Vlan100
tftp-server bootflash:C9800-AP-iosxe-wlc.bin tftp-server bootflash:ap1g8
```

ステップ3 変換プロセスを開始します。

- a) WIM で AP イメージが使用可能な場合は、次の手順を実行します。

```
AP# ap-type ewc-ap tftp://<image>
```

- b) show version の出力を確認しても AP イメージが表示されない場合、それは、その AP が CAPWAP イメージで動作していることを意味します。変換を行うには、次のコマンドを実行します。**ap-typeEWC tftp://<TFTP Server IP>/ap1g8 tftp://<TFTP Server IP>/C9800-AP-iosxe-wlc.bin**。次に例を示します。

```
AP-console#ap-type ewc-ap tftp://192.168.72.11/ap1g8 tftp://192.168.72.11/C9800-AP-iosxe-wlc.bin
Starting download eWLC image tftp://192.168.72.11/C9800-AP-iosxe-wlc.bin
It may take a few minutes. If longer, please abort command, check network and try again.
```

```
##### 100.0%
```

AP が再起動したら、新しいモードの設定を実行する必要があります。「[Embedded Wireless Controller](#)」の項を参照してください。

CAPWAP モードから WGB モードへの変換

ワークグループブリッジ (WGB) モードへの変換では、アクセスポイントは、別のアクセスポイントにクライアントとしてアソシエートされ、イーサネットポートに接続されたデバイスにネットワーク接続を提供します。

CAPWAP から WGB モードへの変換

次の手順を実行します。

1. ルータコンソールを介した WIM との接続、ログインし、**Enable** と入力して、設定された CAPWAP AP のユーザー名とパスワードを使用して特権 EXEC モードに移行するか、**デフォルト WIM パスワード**を使用します。
2. 次のコマンドを使用して、WIM で CAPWAP AP を WGB モードに変換します。

```
APBCE7.120C.DAA8#ap-type workgroup-bridge
WGB is a wireless client that serve as nonroot ap for wired clients.
AP is the Master/CAPWAP AP, system will need a reboot when ap type is changed to
WGB. Do you want to proceed? (y/N): y
```
3. AP が再起動したら、新しいモードの設定を実行する必要があります。**WGB の項**を参照してください。

WGB モードから CAPWAP モードへの変換

この変換は、WIM をワークグループブリッジモードから Embedded Wireless Controller ネットワーク以外のネットワークに移行する場合、または AP をプライマリ AP 選定プロセスの対象外にする場合に必要です。

WGB モードから CAPWAP モードへの変換手順

1. ルータコンソールを介した WIM との接続、ログインし、**Enable** と入力して、設定された CAPWAP AP のユーザー名とパスワードを使用して特権 EXEC モードに移行するか、**デフォルト WIM パスワード**を使用します。
2. **ap-type capwap** コマンドを使用して、WIM で CAPWAP AP を WGB モードに変換します。次の例を参照してください。

```
APBCE7.120C.DAA8#ap-type capwap
AP serving in WGB mode, system will reboot when ap type is changed to CAPWAP. Do you
want to proceed? (y/N): y
```
3. WGB が再起動し、WGB の設定がクリアされます。AP が起動し、CAPWAP 接続プロセスが開始されます。

EWC モードから CAPWAP モードへの変換

Embedded Wireless Controller (EWC) 対応アクセスポイントをアプライアンスまたは vWLC ベースの環境に移行する場合、次の手順に従い、CLI を使って WIM で変換を実行します。

その他の変換ワークフローと詳細な手順については、**EWC ホワイトペーパーの「変換」の項**を参照してください。

EWC モードから CAPWAP モードへの変換手順

手順

- ステップ 1** ルータコンソールを介した WIM との接続、ログインし、**Enable** と入力して、設定された CAPWAP AP のユーザー名とパスワードを使用して特権 EXEC モードに移行するか、**デフォルト WIM パスワード**を使用します。
- ステップ 2** 内部 AP CLI を使用するには、コントローラのプロンプトで **wireless ewc-ap ap shell username [AP-username]** と入力し、内部アクセスポイントシェルにログインします。
- ステップ 3** **ap-type capwap** コマンドを実行します。これにより、AP がリロードされ、AP と EWC パーティションの両方が完全に工場出荷時の状態にリセットされ、アクセスポイントはプライマリ選定プロセスの対象外となります。次の例を参照してください。

```
WLC#wireless ewc-ap ap shell username Cisco
The authenticity of host '192.168.129.1 (192.168.129.1)' can't be established.
ECDSA key fingerprint is SHA256:xxxxxxx
Are you sure you want to continue connecting (yes/no/[fingerprint])? yes
Warning: Permanently added '192.168.129.1' (ECDSA) to the list of known hosts.
Cisco@192.168.129.1's password:

AP#ap-type capwap
APBCE7.120C.D760#ap-type capwap
AP is the Master AP, system will need a reboot when ap type is changed to CAPWAP.
Do you want to proceed? (y/N) Y
```

IOS XE 17.11.1 以降での Wi-Fi モードの変換

IOS XE 17.11.1 以降、UIW イメージの導入により、WP-WIFI6 モジュールの WGB モードのサポートが強化され、対応するモード変換で新しい CLI が使用されるようになりました。

モジュールは、現在のイメージバンドルに基づいて、次の2つの固有の変換シナリオをサポートします。

- プログラムされた UIW イメージを使用しない EWC と CAPWAP AP モード間の変換
- プログラムされた UIW イメージを使用した CAPWAP AP モードと WGB モード間の変換

WP-WIFI6 モジュールに UIW イメージがプログラムされている場合、EWC モードに変換できなくなります。

AP モードと EWC モード間の変換

WP-WIFI6 モジュールが UIW イメージでプログラムされているかどうかを確認するには、**WIM イメージタイプの決定**の項を参照してください。



- (注) AP モードと EWC モード間の変換は、事前インストール済みの EWC+CAPWAP イメージバンドルでのみ許可されます。

以前に WIM に UIW イメージがプログラムされていない場合は、同じ手順に従って EWC モードと AP モードを切り替えます。

- [CAPWAP モードから EWC モードへの変換](#)
- [EWC モードから CAPWAP モードへの変換](#)

CAPWAP モードから WGB モードへの変換

この変換は、IOS XE 17.11 以降で、CAPWAP AP モードからワークグループブリッジモードに変換する場合に必要です。まず、[UIW 17.11 イメージのインストール](#)の手順に従ってください。

WP-WIFI6 モジュールコンソールで **config boot mode wgb** コマンドを使用します。

変換の手順

1. ルータコンソールを介した [WIM との接続](#)、ログインし、**Enable** と入力して、設定された CAPWAP AP のユーザー名とパスワードを使用して特権 EXEC モードに移行するか、[デフォルト WIM パスワード](#)を使用します。
2. **config boot mode wgb** コマンドを使用して、WIM で CAPWAP AP を WGB モードに変換します。次の例を参照してください。

```
AP_WIFI6# config boot mode wgb
Image swapping will restore the device to factory settings.
Are you sure to proceed? (y/n) y
AP starts factory reset...
```

3. AP が再起動したら、新しいモードの設定を実行する必要があります。「[ワークグループブリッジ \(WGB\)](#)」の項を参照してください。

WGB モードから CAPWAP モードへの変換

この変換は、AP をワークグループブリッジモードからワイヤレスコントローラネットワークに移行する場合に必要です。

変換の手順

1. ルータコンソールを介した [WIM との接続](#)、ログインし、**Enable** と入力して、設定された CAPWAP AP のユーザー名とパスワードを使用して特権 EXEC モードに移行するか、[デフォルト WIM パスワード](#)を使用します。

2. **config boot mode capwap** コマンドを使用して、WIM で CAPWAP AP を WGB モードに変換します。次の例を参照してください。

```
AP_WIFI6# config boot mode capwap
Image swapping will restore the device to factory settings.
Are you sure to proceed? (y/n) y
AP starts factory reset...
```

3. WGB が再起動し、WGB の設定がクリアされます。AP が起動し、CAPWAP 接続プロセスが開始されます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。